

2014年7月25日 札幌市(かでの2・7)

午前中

<テーマ1>学校徴収金実態調査 他について・・・研究部

調査結果より、昨年度と変更点がある学校が4校(花小・生振小・双葉小・望来小)あり。

石狩中 PTA会費 6,000円から4,800円に値下げ。(部活動費は含まれていない。)

花川中 美術で使用する小刀を研ぐことを学校支援地域本部の人に依頼することを計画し、そのことで徴収金の値上げを回避できた。

花川南中 学年学級費を30円値下げ。

樽川中 理科実習費を全学年100円値下げ。不足が出れば、市経理で対応予定。  
500円から400円に。今年度は50,000円の支出になる可能性有。  
☆消費税増税分を考えると、市経理は厳しい現状も有。

### 調査結果の傾向と分析

事務職員が徴収業務にかかわっている学校ほど、徴収金が少なくなる傾向がある。

質問事項

①適応指導教室に通っている生徒の諸費支払いはどうしているか？

→教材に関するものは、必要なものだけ徴収。実習費に関するものは徴収していない。

②転出・転入の場合の金額決定・返金等はどうしているか？

→学年対応(会計担当者が清算書を出す。)

③公費負担する物品の基準は各校どのように行っているか？

→道立学校のガイドラインに準じて、最終的に児童生徒のものにならないもの。

市内の小中学校では、理科キットについて市経理から支出することが可能か市教委に問い合わせたところ、児童生徒のものになるので、市経理からは出せないという回答があった。家庭科では、調味料は支出可能との回答。

・保護者負担軽減にかかわって

小学校備えつけとして、そろばん・ものさし・時計を要望していく方法や教員に調査していく方法も有。

(授業で扱う時間が2時間程度等、使用する時間が非常に短期間であることから)

・学校徴収金未納調査について

中学校に未納者が多いのは、金額が大きいという理由も関係しているのか。

引き落としの回数は、あまり関係ない。

今後、未納の徴収金にかかわる督促文書の交流を行うのも良いのではないか。

<テーマ2>校内予算書の交流・・・事務局

樽川中 ブラスバンドの予算が高すぎるのではないかと。手数料(クリーニング)は毎年、  
余裕がない。

花川南小 21学級分のカーテンクリーニングを実施した。  
行事費・衛生費・その他の細項目の金額が大きい。

石狩小 過去5年間、クリーニングを行っていなかったため、増額した。

花川中 「花中の財政」を5月の職員会議で提案している。  
前年度の決算報告もこのタイミングで。

厚田小 前年度の執行額も載せたほうが良いのではないかと。

<テーマ3>ふらのフォーラムのレポートについて

別紙のとおり

午後

<テーマ4>予算要望の共通課題について・・・予算要望部

⑫稚内市で取り入れている方法

フレーム予算～過去に議論した事がある。

校長が決定するため、責任は重くなる。

\*フレーム予算は理想であるが、実現は難しい。

行政は人が変わっても予算は変わらないが、学校は人が変われば予算も変わる。

<テーマ5>全道事務研レポート発表交流について>

・昨年の2次研究協議会のレポートを基に作成。

・全道研では、石狩市の内容について公費化に向けたとりくみについて、どのような議論  
がされたのか、といった質問が出るのが想定できる。

① 学校徴収金(保護者負担調査)

石事協で共通項目の調査をやった方が良いのではないかと。(保護者負担について)

② 各種補助金調査

奨励プログラムや生徒指導部会の会計等についての課題や問題点がある。

③ 未納金に関する調査

未納金をどうしていくか。いくら入っていくら使ったかという収支報告になる現状があ  
る。未納金を前提に集めるお金を決定している背景もある。

④ 就学援助認定状況

申請の漏れをなくすには、どうしたら良いのか。

⑤ 職業体験学習交通費・引率旅費調査

3年位前に白書提言No.11(2011年)にも載っている。

スクールバスを使う違い。厚田・浜益はスクールバスを使える。

石狩管内の状況も過去に日刊連携会議に出ている。

⑥ 修学旅行軽費調査

引率者の自己負担調査等についてはHPに出ている。

## <テーマ6>就学援助の交流

学校教育課 山下主査より児童手当より未納金の徴収ができるという話が前回の定例会であった。

北海道内の取り扱いの規約 白老町や北斗市などで制定されている。白老町においては様式もある。上記の市町ではほとんど行っていないとのこと。教材費にまでは全く及んでいない状況である。